

【ワークシート⑧】 第2段階ワークシート：ルーブリックのチェックリスト

※すべての項目を埋める必要はありません。

※太字の項目はとくに重要なものです。

観点1：そのルーブリックは、評価の規準・基準としてよいものとなっていますか？	
ルーブリックで評価するものは、個別の知識・技能を点検するチェックリストでは評価できないものですか？ それぞれ区別して用いていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
「合格」レベルの子どもは、たしかに「理解」をしているといえますか？ また、「不十分」レベルの子どもは、まだ「理解」に至っていないといえますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
ルーブリックは、(レポートの文字数や字の丁寧さなど) 見やすい特徴ではなく、パフォーマンスの核心となる特徴を評価するものとなっていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
ルーブリックの記述語は、「かなり」「よく」「あまり」のような単純な比較の言葉ではなく、パフォーマンスの質をとらえる言葉でつくられていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
ルーブリックの一つの観点のなかに、異なる観点が混ざらないようにつくられていますか？ また、必要な場合には観点を分け、観点別ルーブリックにしていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
ルーブリックは、実際の子どもの作品例をふまえてつくられていますか？ 子どもたちの学習の実態をふまえてつくられていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
ルーブリックの記述語を具体的に把握するために、(いくつかのレベルに) 各レベルを代表する子どもの作品(アンカー作品)を添えていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
観点2：そのルーブリックは、指導に活かすことのできるものですか？	
どのパフォーマンス課題に対してルーブリックを使うか決めてしていますか？ ルーブリックを用いる対象(子どもの作品や実演)を決めていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
ルーブリックに示されている記述語の意味(観点とレベル、規準と基準)は、採点をする教師の間で十分に共有されていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
ルーブリックの中身は、子どもたちと共有できるものですか？ 子どもたちにとって難しい場合、共有する工夫がなされていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
子どもたちは、ルーブリックを使って自分自身のパフォーマンスを改善することができますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
ルーブリックを使って採点をしたときに、どのような情報が得られるのか、その情報を次の指導にどう活かすのかについての見通しが立っていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

* Wiggins, G., *Educative Assessment: Designing Assessments to Inform and Improve Student Performance*, Jossey-Bass, 1998, pp. 184-185, McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p. 207などを参照しつつ、徳島祐彌作成。奥村好美・西岡加名恵編著『「逆向き設計」実践ガイドブック』日本標準、2020年、巻末資料⑧。